

「地域力」が奏でる 「都市力」の創出をめざして

まちづくりフォーラムの提言

川西薩地区法定合併協議会まちづくりフォーラムでは、各市町村5名、計45名の委員が社会基盤、生活環境、保健福祉、産業経済、教育文化の5グループに分かれ、今年1月から約3カ月にわたり、合併後のあるべき姿について議論してきました。議論の結果はこのたび、それぞれの地域特性を最大限活かすとともに、規模拡大のメリットを発揮して新市全体としての新しいまちづくりに取り組んでいこうと、提言書「地域力が奏でる都市力の創出をめざして」としてまとめられました。

■ 新しいまちづくりの視点

「地域力」を育み、新しい地域創造を目指す

新市を構成する“まち”は、恵まれた自然、伝統、文化等々、それぞれにすばらしい財産がある。良いものは残し、強化・充実し、また、地域内に広げていくことで地域特性を活かした“新しいまち”を創り出していく。

「都市力」(都市の魅力)を最大限に発揮する

9市町村が一体となることにより、産業・観光等のあらゆる面で規模の拡大による効果や相乗効果が期待できる。インフラ整備を含め、13万都市の魅力を最大限発揮するような方策を推進していく。

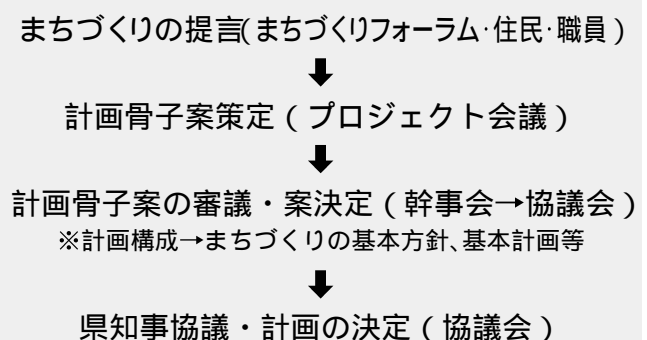
■ まちづくりフォーラムの提言する4つのプロジェクト

- I 「地域力」を育む、新しい地域創造プロジェクト
- II 「フェイス to フェイス」、うるおいと安心創出プロジェクト
- III 「潜在力」を発揮する、「産業活力」創生プロジェクト
- IV 「都市力」を創生する、新市飛翔プロジェクト

《まちづくりフォーラムの活動》

平成15年	
1月～3月	討論、提言案の整理
3月28日	協議会の提言書提出
5月11日	提言報告会
7月	計画骨子案意見交換会
平成16年	
1月	計画意見交換会、解散

《新市まちづくり計画策定手順》



I 「地域力」を育む、新しい地域創造プロジェクト

- 1 コミュニティ活動の維持と自治組織活動の強化
 - ・自治活動の維持・充実
 - ・自治組織への加入促進
 - ・新市における自治組織及び活動のあり方に関する検討の推進
- 2 地域の特色を生かした教育の推進
 - ・地域の特色を生かした幼児・学校教育等の推進
 - ・魅力ある高校教育の体制づくり
 - ・教育行政の推進体制の維持・充実
 - ・青少年育成活動の充実・推進
 - ・生涯学習の広域的な展開
 - ・スポーツ活動を通じた市民健康づくり地域スポーツクラブ運動の展開
- 3 特色ある地域文化の保存・継承の推進
 - ・それぞれの地域の伝統芸能・地域文化の保存・伝承
 - ・既存組織の活用及び交流の推進
- 4 みんなで取り組む環境先進都市づくり
 - ・ごみ処理・し尿処理の体制づくり
 - ・ごみの再資源化の推進
 - ・不法投棄、ルール違反等の監視・指導の強化
 - ・水がきれい豊かで豊かなまちづくり

II 「フェイス to フェイス」、うるおいと安心創出プロジェクト

- 1 市民すべてが住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくりの推進
 - ・高齢者・障害者福祉の充実
 - ・地域福祉推進体制の充実
 - ・甑島からの介助者の経費負担の軽減
- 2 市民すべての健康づくりの推進
 - ・拠点施設の充実
 - ・保健サービスの充実
 - ・甑島における医療施設の充実
- 3 安心して出産し子育てができる支援体制の充実
 - ・保育サービスの充実
 - ・小児科の充実
- 4 安心できる広域消防救急体制の構築
 - ・広域消防救急医療体制の整備
 - ・消防救急面からの社会基盤整備
 - ・救急医療における甑島民の負担の軽減
 - ・地域住民による消防防災体制の充実

「地域力」と「都市力」発揮に向けた4つのプロジェクト

III 「潜在力」を発揮する、「産業活力」創生プロジェクト

- 1 新たな時代に対応したダイナミックな農業の展開
 - ・川西薩地区農業公社の設立
～地域農業のセンター機能の創出～
 - ・集落営農の推進
～産地間競争に打ち勝つ営農形態の構築～
 - ・重点的な振興作物の選定
～独自性のある産品づくり～
- 2 力強い水産業の新たな展開
 - ・大規模な畜養基地づくり
～価格安定による漁業経営の健全化～
 - ・新しい流通体系の構築
～「こだわり」を持った地産地消の仕組みづくり～
 - ・大型魚礁の設置～つくり育てる漁業の展開～
- 3 すそ野の広い観光産業の振興
 - ・既存観光資源の高付加価値化～体験観光の展開～
 - ・ネットワーク型観光の展開
～観光資源を複合的につなげる～
 - ・観光産業に対する支援の強化
～観光を一体化するための観光課の設置～

IV 「都市力」を創生する、新市飛翔プロジェクト

- 1 「都市の魅力」の創出
 - ・港湾機能の強化～人・モノの行き交う港づくり～
 - ・産業道路の整備～産業を支える社会基盤づくり～
 - ・商店街の専門店化～「こだわり」を持った街づくり～
- 2 “どこへも便利・どこからも便利”なアクセス網の充実
 - ・地域内アクセスの向上や各地域と空港との利便性を高める
 - ・甑島との一体的なインフラ整備の推進
 - ・地域内の移動手段の確保・充実による活性化
- 3 新しいまちを描こう 顔づくり・姿づくり・まちづくり”
 - ・新幹線開通のメリットを最大限引き出す整備の促進
“新市の顔づくり”
 - ・新しいまちをみんなで描こう “ゾーニング” “新市の姿づくり”
 - ・みんなで知恵を出し合う “新しいまちづくり”
- 4 地域ニーズを踏まえた住宅・宅地の整備
 - ・公共賃貸住宅の整備
 - ・特色ある住宅・宅地の整備
- 5 地域内外の人々が集う魅力ある公園・緑地の活用
 - ・利用頻度の低い公園等の新たな活用方法の検討
 - ・地域外に誇れる公園の活用促進

まちづくりフォーラム 5 グループの提言

教育文化

〈基本的な考え方〉 小規模地域への人的、物的な支援と各地域それぞれの伝統と文化に対する十分な配慮のもと、各地域の特色を生かした教育文化活動のネットワーク化の推進を図り、安らぎと豊かさの感じられる地域社会づくりを目指す。

I 地域の特色を生かした教育の推進

1. 地域の特色を生かした幼児・学校教育等の推進
 - ・小規模校の維持対策、児童数の減少への対応に留意する
 - ・甌島の子どもたちの高校進学のための奨学金制度等、現状の支援対策の維持・充実
2. 魅力ある高校教育の体制づくり
 - ・職業系高校での地域産業と関連性の高い学科・科目の設置など学科・科目の見直し
3. 教育行政の推進体制の維持・充実
 - ・学校運営に協力する学校単位の評議員制度を新市でも活用する
4. 青少年育成活動の充実・推進
 - ・地域内の異年齢間や世代間の交流を推進する
 - ・青少年のボランティア活動や国際交流活動の推進
5. 生涯学習の広域的な展開・ネットワーク化
 - ・どこに住んでいても受講したい講座を相互に受講できるようにする
 - ・小・中学校の未利用教室を地域の生涯学習活動やボランティアセンターとして活用
6. スポーツ活動を通じた市民健康づくり地域スポーツクラブ運動の展開

- ・市民1スポーツ活動への参加を通して疾病予防や体力づくりを推進

II 特色のある地域文化の保存・継承の推進と新たな文化の創造

1. それぞれの地域の伝統芸能・地域文化の保存・伝承
 - ・各地域の図書館、歴史郷土資料館等の特色ある活動の充実・維持とネットワーク化
2. 既存組織の活用及び交流の推進
 - ・女性団体等地域に根差した各種団体・組織の活性化支援の推進
 - ・甌島に青少年交流のための宿泊設備をつくることを検討する

III コミュニティ活動の維持・強化

1. 自治活動の維持・充実
 - ・小規模地域では自治組織や地域活動に対する支援が必要
2. 自治組織の加入促進
3. 新市における自治組織及び活動のあり方に関する検討の推進
 - ・自治組織の最小単位を30～50戸くらいを目安に適正規模をそろえる
 - ・高齢者を見守るためにも自治組織を弱体化させず、維持することが必要

生活環境

〈基本的な考え方〉 「環境先進都市」づくりを大きな目標として掲げるとともに、「離島を含む自治体における安心できる暮らし」「定住・交流推進」を念頭におき、地域内のすべての住民の安心で快適な暮らしの確保を目指す。

I みんなで取り組む環境先進都市づくり

1. ごみ処理・し尿処理の体制づくり
 - ・体制を早急に一本化し、迅速で効率的なごみ処理・し尿処理の体制づくり
2. ごみの減量化・再資源化の推進
 - ・ごみ分別やごみ出しが大変な一人暮らし高齢者等に対し、地域住民が協力・支援
 - ・生ごみの堆肥化やメタン発酵などのエネルギー活用など再資源化
3. 不法投棄、ルール違反等の監視・指導の強化
 - ・特に山間部における不法投棄の監視・指導を強化
 - ・川内市のごみのポイ捨て条例を新市においても適用し、ごみのないまちづくり
4. 水がきれいで豊かなまちづくり
 - ・川内川の水質保全とあわせた川内川流域での親水事業の展開

II 安心できる広域消防救急体制の構築

1. 広域消防救急医療体制の整備
 - ・ヘリコプターや漁船チャーターなどによる甌島～本土間の搬送時間の短縮

2. 消防救急面からの社会基盤整備
 - ・山間部における携帯電話などの情報通信基盤の整備
3. 救急医療における甌島民の負担の軽減
 - ・漁船のチャーター料金などの経済的負担の軽減
4. 地域住民による消防防災体制の充実
 - ・婦人消防隊などの初期的な消防防災組織の育成

III 地域ニーズを踏まえた住宅・宅地の整備

1. 公共賃貸住宅の整備
 - ・若年世帯やUターン者向けの公共賃貸住宅の供給量を増加
2. 特色ある住宅・宅地の整備
 - ・温泉を活用した公共賃貸住宅をはじめとする住宅・宅地の整備

IV 地域内外の人々が集う魅力ある公園・緑地の活用

1. 利用頻度の低い公園等の新たな活用方法の検討
 - ・市民農園化など利用目的を変更・整備して交流を図るゾーンとする
2. 地域外に誇れる公園づくり
 - ・自然遊歩道のある既存の公園を昆虫などの自然観察ができる公園に変える

社会基盤

〈基本的な考え方〉合併に際しては、新しいまちの一体感の醸成がなによりも重要。そのためのインフラ整備の促進・充実とともに、地域特性の保持・増進や住民主体の住民視点での新しいまちづくりを推進することに力点を置く。

I “どこへも便利・どこからでも便利”なアクセス網の充実

1. 地域内アクセスの向上や各地域と空港との利便性を高める
 - ・新幹線と空港へつながる空港幹線道路、県道42号の整備促進
 - ・自然・歴史資源を1日旅行等にリンクできるような工夫及びスムーズな移動の確保
2. 甌島との一体的なインフラ整備の推進
 - ・海上タクシー（甌島～串木野、川内市）の活用と利用促進
 - ・急患への対応強化～新市庁舎へのヘリポート設置など
3. 地域内の移動手段の確保・充実による活性化
 - ・川内市の「くるくるバス」など地域内バスを地域全体に広げる

II 新しいまちを描こう“顔づくり・姿づくり・まちづくり”

1. 新幹線開通メリットを最大限引き出す整備の促進～“新市の顔づくり”
 - ・新幹線川内駅及び駐車場など周辺の整備を促進し、新市の顔づくりを重点的に行う
 - ・温泉をつなぐ観光ルートの開発
2. 新しいまちをみんなで描こう“ゾーニング”～“新市の姿づくり”
 - ・海・山・川の地域特性を生かしたゾーニング
3. みんなで知恵を出し合う“新しいまちづくり”
 - ・地域審議会の設置と、住民の声を反映しやすくなる仕組みを構築し、住民主体の行政を推進

保健福祉

〈基本的な考え方〉「自ら進んで行動し共に助け合う福祉社会」を形成するために心身の健康づくりや福祉サービスの充実を図る。

I 市民すべてが住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくりの推進

1. 高齢者・障害者福祉の充実
 - ・要援護者やその家族が交流したり楽しんだりする場の提供
2. 地域福祉推進体制の充実
 - ・ボランティア活動を支援し、ボランティアのネットワーク化を推進
3. 甌島からの介助者の経費負担の軽減
 - ・介助者や付き添いが低料金で宿泊できる施設の建設

II 市民すべての健康づくりの推進

1. 拠点施設の充実

2. 温泉を利用したユニバーサルデザイン化複合施設の整備
2. 保健サービスの充実
 - ・生活習慣病の予防のための予防知識の普及・啓発
3. 甌島における医療施設の充実
 - ・現在ある診療所を整備し、準総合病院化を図る
 - ・甌島の環境を活かしたケアハウス等の施設の設置

III 安心して出産し子育てができる支援体制の充実

1. 保育サービスの充実
 - ・子育て支援のためのボランティア育成を図る
2. 小児科の充実
 - ・24時間体制の小児科の設置など小児医療体制を強化

産業経済

〈基本的な考え方〉「地域内循環経済の創出」という目標の設定と、その達成に向けた産業間、地域間の交流・連携の強化を図る。

I 新たな時代に対応したダイナミックな農業の展開

1. 川西薩地区農業公社の設立～地域農業センター機能の創出～
 - ・農業公社を地域農業センターと位置づけ、農業政策を一元化する
2. 集落営農の推進～産地間競争に打ち勝つ営農形態の構築～
 - ・1集落あるいは複数に集落を単位とする営農組合等を中心に合理的な農業を展開
3. 重点的な振興作物の選定～独自性のある産品づくり～
 - ・独自性がありかつ付加価値の高い産品について生産振興を図る

II 力強い水産業の新たな展開

1. 大規模な畜養基地づくり～価格安定による漁業経営の健全化～
 - ・甌島～串木野の海域で大規模な畜養基地をつくり、出荷調整で価格の安定につなげる
2. 新しい流通体系の構築～「こだわり」を持った地産地消の仕組みづくり～
 - ・畜養基地から地元のスーパーや飲食店などに直接卸すシステムを構築
 - ・地域外の人にわざわざ川西薩に来てもらうことで物流等にかかる中間コストを省く
3. 大型魚礁の設置～つくり育てる漁業の展開～

III すそ野の広い観光産業の振興

1. 既存観光資源の高付加価値化～体験観光の展開～
 - ・温泉街の活性化とイメージアップを図る

2. 枝打ちや田植えなど農林業体験ツアーの展開
2. ネットワーク型観光の展開～観光資源を複合的につなげる～
 - ・温泉と水産物、歴史文化資源と農産物など複数の観光資源の連携を図る
 - ・各地域にあるスポーツ施設をネットワークし、スポーツ合宿の誘致を図る
3. 観光産業に対する支援の強化～観光を一体化するための観光課の設置～
 - ・すそ野の広い観光産業を強力に支援する観光産業支援組織の設立を図る

IV 「都市の魅力」の創出

1. 港湾機能の強化～人・モノの行き交う港づくり～
 - ・港への商業機能の立地を促進させ、人の交流が盛んな港湾づくり
2. 産業道路の整備～産業を支える社会基盤づくり～
 - ・川内市、串木野市から鹿児島空港までの「空港アクセス道路」の整備
3. 商店街の専門店化～「こだわり」を持った街づくり～
 - ・「こだわり」を持った店づくりを進め、商店街の専門店化を図る
 - ・地域内の農産物、水産物を中心とした「こだわり」を持った飲食店の育成
 - ・川西薩地区全域における商工業の活性化のためにどのような形態が望ましいかを十分検討し、統合や連携強化を図る